

社会福祉法人かがやき神戸 北区事業所発行



・・・必要のない命などない！

胸を張って次の社会を担う子供たちに伝えたい・・・

信じられない残虐な事件が、神奈川で起こりました。19人の犠牲になった仲間たちの恐怖を考えると言葉もありません。また多くの傷を負った仲間たちの痛み、ご家族や生活を共にしていた仲間や職員の悲しみと不安を癒すのは、いつのことでしょう。事件の背景や真相が究明され、二度と同じことを繰り返されない社会を心から願います。

この事件は、私たちが、筑紫が丘、広陵町、小倉台の各地域の夏のお祭りにむけて準備をしている真っ最中に起こりました。いつもは元気で賑やかな法人の仲間たちからも「障害があったら、生きていたらあかんのん？」「こんなん許されへん」と大きな悲しみと不安、怒りの言葉が出されています。家族も、職員も「障害があってもなくても命の重さに変わりはない」「貴方は、大事な大事な存在だよ」「障害があることは、恥ずかしいことでも駄目な事でもない。堂々と胸を張って生きていこうよ」と伝えつづけています。そのせいでまた仲間たちの笑顔が戻り「さあ、夏祭り本番や！！頑張るぞ！！」と作業や活動にもどることができていますが、仲間たちの受けた心の痛みを考えると・・・辛いです。

今、かがやき神戸では、来年度には開所できたらと、重い障害があっても利用できるショートステイの建設着工をめざしています。障害のある仲間も家族も、決して贅沢を望んでいるわけではありません。「地域で、当たり前前に生活を続けたい」ただそれだけが望みです。そのための建設の資金づくりが、私たちにとって最大のハードルになっています。ショートステイ建設費総額は、約1億2000万円で、そのうち4000万円を、バザー、イベント、まつり、募金等で作ろうと頑張っています。まだ目標額には届きませんが、今の北施設を建設する時同様に、この分野の方ではないたくさんの地域、市民の方々からご支援をいただいています。障害のある人のことを自分のこととして考えてくださる方々が、こんなにも大勢いらしてくださることは、私たちの活動への勇気とエネルギーの源になっています。そして、二度とこんな事件を起こさない社会への力になると心強い限りです。

「こんな事件は絶対に許せない」ということ、「この世に必要なのない命などない！！」「みんなを大事に出来る地域にしようよ！！」ということ、声を大にして伝えたいと思います。「誰かを締め出す社会は、弱くてもろい」そんな社会や地域を絶対につくらないことを、次代を担う子供たちに約束することは大人として私たちの責任だと思います。 (松本 多仁子)

・・・第39次国会請願署名についてのご報告・・・

皆様にご協力いただきました「きょうされん第39次国会請願署名」は、国会で、総合支援法改正が国会提出され成立していることもあり、審議未了という結果になりました。

今回紹介議員になってくださった兵庫選出国會議員さんは、井坂信彦議員・関芳弘議員・中野洋昌議員・山田賢司議員・堀内照文議員・松本剛明議員（以上衆議院議員）鴻池祥肇議員・水岡俊一議員・清水貴之議員（以上参議院議員）でした。本当に有難うございました。今後とも、引き続きご支援よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人かがやき神戸では、常勤職員を募集しています。詳しくは法人本部まで
078-993-1667 松原まで



いま、こんなことやってまーす♪

ぐりいと

8月27日・28日と、岡崎市シビックセンターにて、24時間テレビ「愛は地球を救う」に出演します！
（『クラウン誕生物語』をします）



つくしんぼ

7月8日（金）に生活介護つくしんぼで、クラブ活動を行いました。班の枠を超えて、それぞれの仲間が「ものづくり」「料理」「運動」のクラブに参加しました。「次回もやりたい」「疲れたけど楽しかった」などの感想が出ました。次回のクラブの日程は未定ですが、近々行う予定です。



ひだまり

今年の夏は、8/22にみんなでかき氷大会をします！他には、“ユーカリ”へお茶をしに行ったり、衛生指導を受けて学んだりします。いつもの手芸やダーツ、絵画もやっています。



だんだん

厨房班ではこの度、精米機を購入しました。地域の皆さんで精米をされるようでしたら、お貸しいたしますので、施設にお越してください。
10kg 50円です。合わせて米ぬかもございますので、お入り用の方はお気軽にお声かけください。



グループホーム

サテライト型の仲間の感想です。
「楽しいです！ご飯を作る時もあるし、やってみると、ちゃんと生活できています。次の4月には一人暮らしをしたいと思っています！」
「ひとりで自由にゆっくりできます。遅く帰っても、ゆっくりご飯が食べられます。でも、お風呂のお湯の調整が難しい」など、生活の様子を教えてもらいました。



くろーばあ

リサイクル担当の綾城です。くろーばあのオープン時からリサイクルでお仕事しています。リサイクルの商品は、すべて地域の方から提供いただいたものです。商品の状態を見ながら、多くの方にお手ごろな価格でお買い求めいただけることを心がけています。





『ネットワーク希望』『いろり』のお世話役 ～松本 竹生さん～

・今回は『ネットワーク希望』と、地域の社会福祉士の会『いろり』のお世話役の松本竹生さんに、かがやき神戸職員の河石がインタビューしました。



河石（以下、河）「では、まず『ネットワーク希望』は、どのような活動をされていますか？」

松本竹生さん（以下、竹）「地域の方とお茶を飲みながらおしゃべりをする『希望サロン』と、季節ごとの歌や唱歌、昭和20～40年代の歌謡曲などを歌って楽しむ、『うたごえ喫茶』を毎月開催しています。」

河「なるほど。『ネットワーク希望』があることで、地域の方がいつでもつながっていただける場が、提供できるわけですね。では、『ネットワーク希望』を始めたきっかけや、思いなどをお聞かせ願えますか？」

竹「『ネットワーク希望』の前身の活動は、阪神大震災直後に筑紫が丘の公園などにできた、仮設住宅の人と地域の人たちの交流の場から始まりました。この活動を通して、地域のいろいろな方にご支援をいただいたことが、その後の地域活動を続けるための貴重な財産になりました。超高齢化社会と言われる今日、第2の人生の大半を地域で過ごすこととなります。現役を退いた方の新しい人間関係づくりのお手伝いをする 것도、『ネットワーク希望』の活動の一つです。地域の方が気軽に集まる場。そこに来ると仲間がいて、ほっとできる心地よい“居場所”。『希望サロン』も『うたごえ喫茶』も、地域の方が集う心地よい“居場所”なのです。

“誰でも気軽に顔を出せる居場所”が、地域のあちこちでできるといいですね。

“居場所づくり”の必要性は、私が20年間この地域で活動してきて実感したことであり、福祉のまち（地域）づくりの原点でもあると思っています。」

河「『ネットワーク希望』は、地域の方がつながれる“場”として、ずっと続いていくわけですね。では、次に地域の社会福祉士の会『いろり』について、お聞かせください。」

竹「生活する上で、さまざまな困難を抱えている人たちの相談や、支援をするために、この地域に住んでいる社会福祉士の有志が昨年、『いろり』というグループを立ちあげました。『うたごえ喫茶』を開催した日の午後に、カフェくろーばぁの一隅をお借りして、来られた方のお話し相手や、相談などをさせて頂いています。具体的なお手伝いが必要な方の場合、かがやき神戸の会議室などをお借りして、詳しくお話しを伺い、できるだけその方のご希望に沿うように対応させて頂きたいと思っています。」

河「なるほど。何かお手伝いが必要なときは、『ボランティアセンターこだま』と協力することがあるのですか？」

竹「はい。『こだま』さんとも協力しあうことになっています。社会福祉士には守秘義務があります。どんなことでも結構ですので、お気軽にご相談下さい。」

河「今日は『ネットワーク希望』と、地域の社会福祉士の会『いろり』のお世話役の松本竹生さんにお話を伺いました。本日はどうもありがとうございました。」

竹「こちらこそ、ありがとうございました。」



カフェくろーばぁで行われている『うたごえ喫茶』の様子

かがやきセミナーと新ホーム建設を実現する会のつどいのご報告



7月23日(土) かがやきセミナーと新ホーム建設を実現する会のつどいが、しあわせの村研修館大ホールにて行われました。今回は、外部の方はもとよりかがやき神戸利用者のご家族にももっとショートステイの必要性や理解を持っていただきたいという想いで開催されました。

当日は、220名ほどの方がご参加下さり、つどいが始まる前から会場内は熱気で包まれていました。新ホーム建設構想が始まった頃から今日に至るまでの経緯や現状を実現する会事務局長の柴木から説明があり、再度全員で振り返りました。

その後は、利用者や家族の抱える問題についての説明がありました。高齢化している家族の体力の限界。重い障がいを持つ仲間を受け入れてくれるショートステイが少ない等々。

重い障がいを持つ仲間が安心して安全に過ごせるように全面バリアフリー化を計画している事や建物の2階部分には、地域の方を含め色々な方が集える「多目的ホール」も図面に入っている事。かがやき神戸が目指している、「地域作り」もしっかりと組み込まれている事が、設計士から話されました。

かがやき神戸の仲間数名も、ショートステイが完成したら自分達の持つ人生設計の可能性がもっともっと広がる事を、いつまでも親に頼るのではなく、自分達で出来る「自立」について堂々と語ってくれました。

また今回は、無認可の小規模作業所時代からかがやき神戸と関わって下さっている地域の方から今後一緒に応援していくという心強いお言葉もいただきました。

どんなに重い障がいがあっても、当たり前暮らし・当たり前生きていく。仲間・家族・地域の方や各関係機関・職員全員で最後に歌を唄い幕は閉じました。

当日ご参加いただきました皆さまに心より御礼申し上げますと共に、今後ともご理解ご協力の程宜しく願い申し上げます。

(新ホーム建設を実現する会事務局 伊藤 義和)



かがやき神戸を支援する会では、年4回、機関紙「かがやき」を発行して、法人の様子や行事の紹介などを行っています。



ご協力をお願いします！

かがやき神戸の応援団「社会福祉法人かがやき神戸を支援する会」への入会のお願い

年会費 1000円

会費振り込み先

郵便振替 口座記号番号 00930-1-67354

加入者名 社会福祉法人かがやき神戸を支援する会

また、障害者福祉制度の充実の活動している「きょうされん」の賛助会員にも、ご協力下さい

年会費 個人 1口 3000円 団体 1口 6000円

郵便振替 口座記号番号 00970-3-250425

加入者名 きょうされん兵庫支部

何とぞ、よろしくお願い致します。

—編集後記—

夏真っ盛りです。しかし、最近の夏はあまりの暑さに、季節を楽しもうという気持ちが萎えてしまっています。街中はヒートアイランド現象で尋常な気温では無いし、エアコンをかけ続けるのも環境が気になるし・・・。そういえば今年から8月11日が「山の日」という祝日になりました。自然の中で過ごす時間は少し涼しくて、なおかつ季節を楽しめるかもしれません。よし、今年の夏は六甲山に行ってみましょう。(H)